

2. 「ある」とお答えいただいた場合、それぞれの症例数・転機をお教えてください。

(該当がない項目は空欄で構いません。)

【先天性心疾患】

Fontan 術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

Rastelli 術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

Jatene 術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

Mustard 術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

Senning 術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

ファロー術後 ____例
(その他のチアノーゼ性
心疾患含む)

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

【大動脈疾患】

大動脈離断・縮窄術後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

大動脈解離・拡大 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

(妊娠前の手術あり ____例 手術なし ____例)

→ 解離の場合は、発症時期を選択してください。(該当するものに○)

妊娠前 ・ 妊娠中 ・ 産褥 (複数ある場合は下に症例数を記載)

【弁膜症】

機械弁置換後 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

置換弁の位置

- 大動脈弁 ____例
- 肺動脈弁 ____例
- 僧帽弁 ____例
- 三尖弁 ____例

【心筋症・虚血性心疾患】

拡張型心筋症 ____例

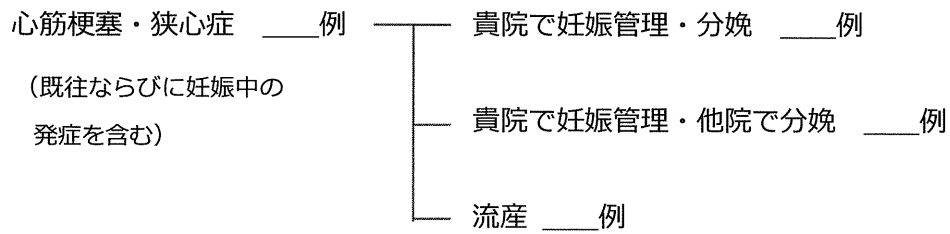
- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

肥大型心筋症 ____例

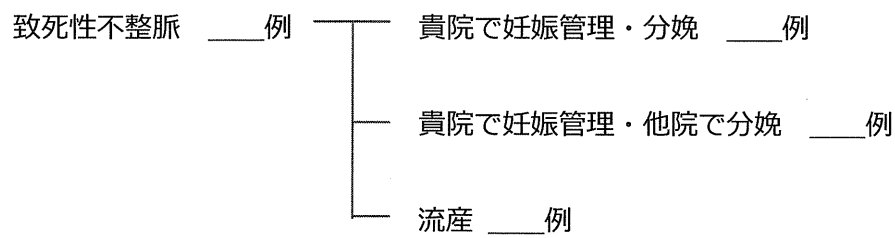
- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例

その他の心筋症 ____例

- 貴院で妊娠管理・分娩 ____例
- 貴院で妊娠管理・他院で分娩 ____例
- 流産 ____例



【不整脈】



(不整脈の種類：)

質問は以上です。

いただいた資料を元に第2次調査をさせていただく予定です。

ご協力ありがとうございました。

(資料 7) 全国調査資料 2

心疾患をもつ女性の 妊娠・出産・流産に関する登録

システム登録について

◆セキュリティ対策

サーバーのセキュリティ対策

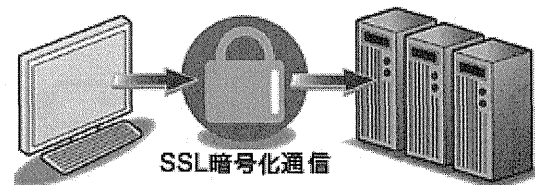
情報漏えい、サイト改ざん、ウィルス感染、不正アクセス、メールリレーについて、随時アラートチェックと1日1回のログチェックを行う。

バックアップサーバーを設置（2台稼働）

通信について

HTTPS通信を使用

WebサーバとWebブラウザの間の通信データを暗号化する。プライバシーに関わる情報や秘密事項などを安全に送受信し、通信経路上での盗聴や第三者によるなりすましを防止する。



院内管理番号と患者姓名の連結可能匿名化

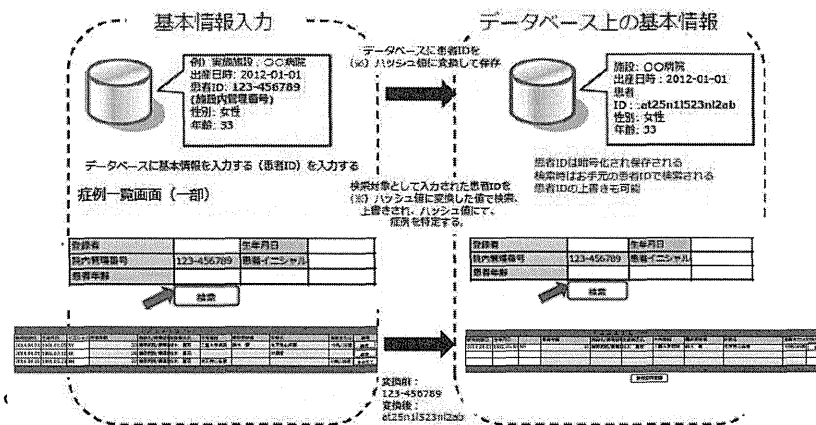
元のデータから一定の計算手順に従ってハッシュ値と呼ばれる擬似乱数を求め、その値によって元のデータを置き換える。パスワードの保管などでよく用いられる手法を使用する。

院内管理番号や患者姓名などをシステムに保存する際、院内管理番号や患者姓名そのものではなくハッシュ値に置き換えシステムに保存し、認証の際には入力値のハッシュ値と比較する手法を用いる。

もし、第三者がハッシュ化された院内管理番号や患者姓名データベースを不正に取得しても、院内管理番号や患者姓名などそのものを得ることはできない。暗号学的ハッシュ関数は情報セキュリティ分野で様々に利用されており、特にデジタル署名、メッセージ認証符号 (MAC)、その他の認証技術で使われている。

連結可能匿名化：患者IDのハッシュ化

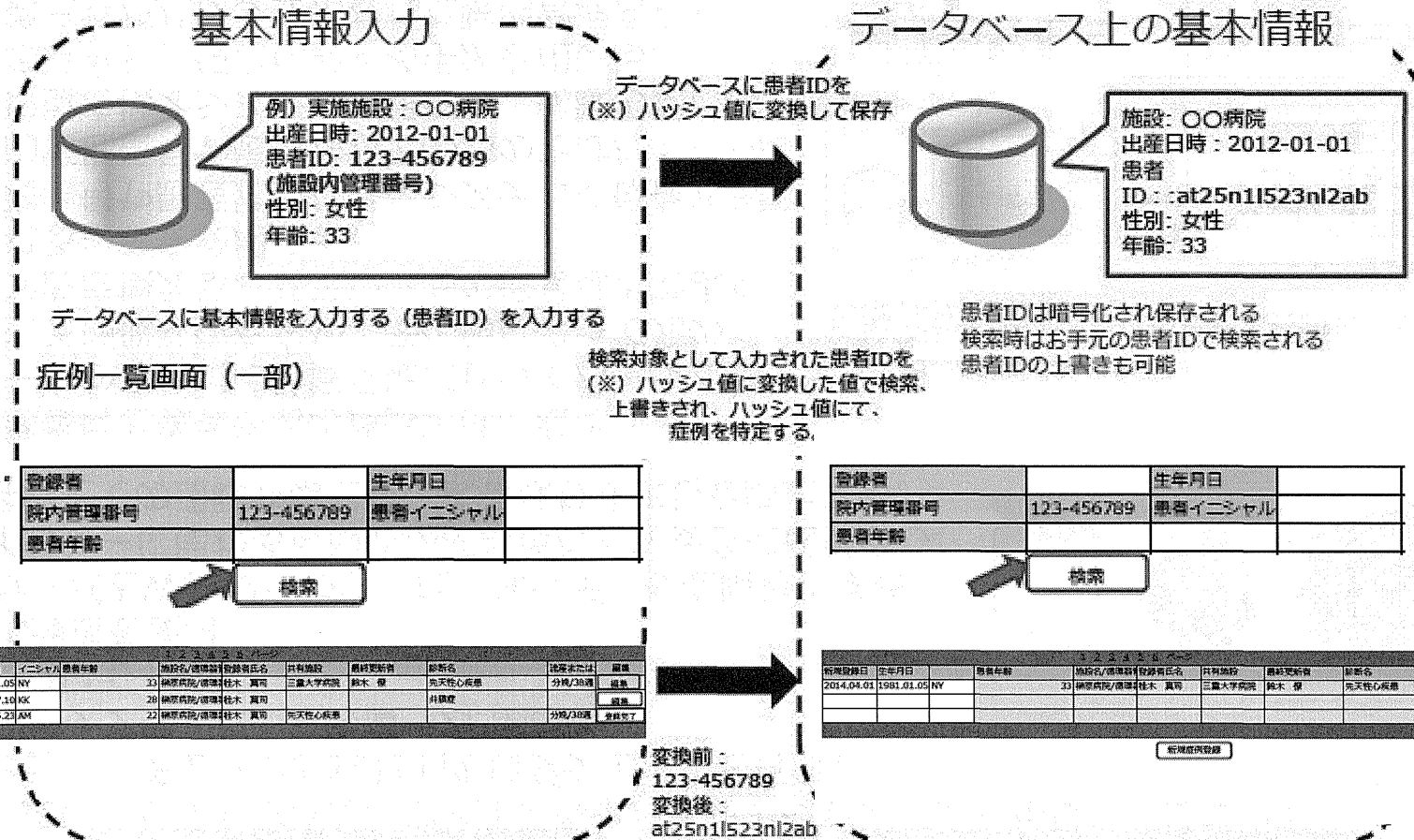
※ ハッシュ値とは、ある入力値をハッシュ関数を使って計算した値をハッシュ値という。ハッシュ値の特徴として、入力値の長さによらず固定長のデータとなる。また、入力値・ハッシュ関数が特定されても、入力値を特定できないという特徴があり、プログラムの世界では、データの一意性を保ちつつ、データ自身を秘藏するために、よく使われます。



連結可能匿名化：患者IDのハッシュ化

※ ハッシュ値とは・・・

ある入力値をハッシュ関数を使って計算した値をハッシュ値という。ハッシュ値の特徴として、入力値の長さによらず固定長のデータとなる。また、入力値・ハッシュ関数が特定されても、入力値を特定できないという特徴があり、プログラムの世界では、データの一意性を保ちつつ、データ自身を秘匿するために、よく使われます。



◆入力項目

【患者基本情報】

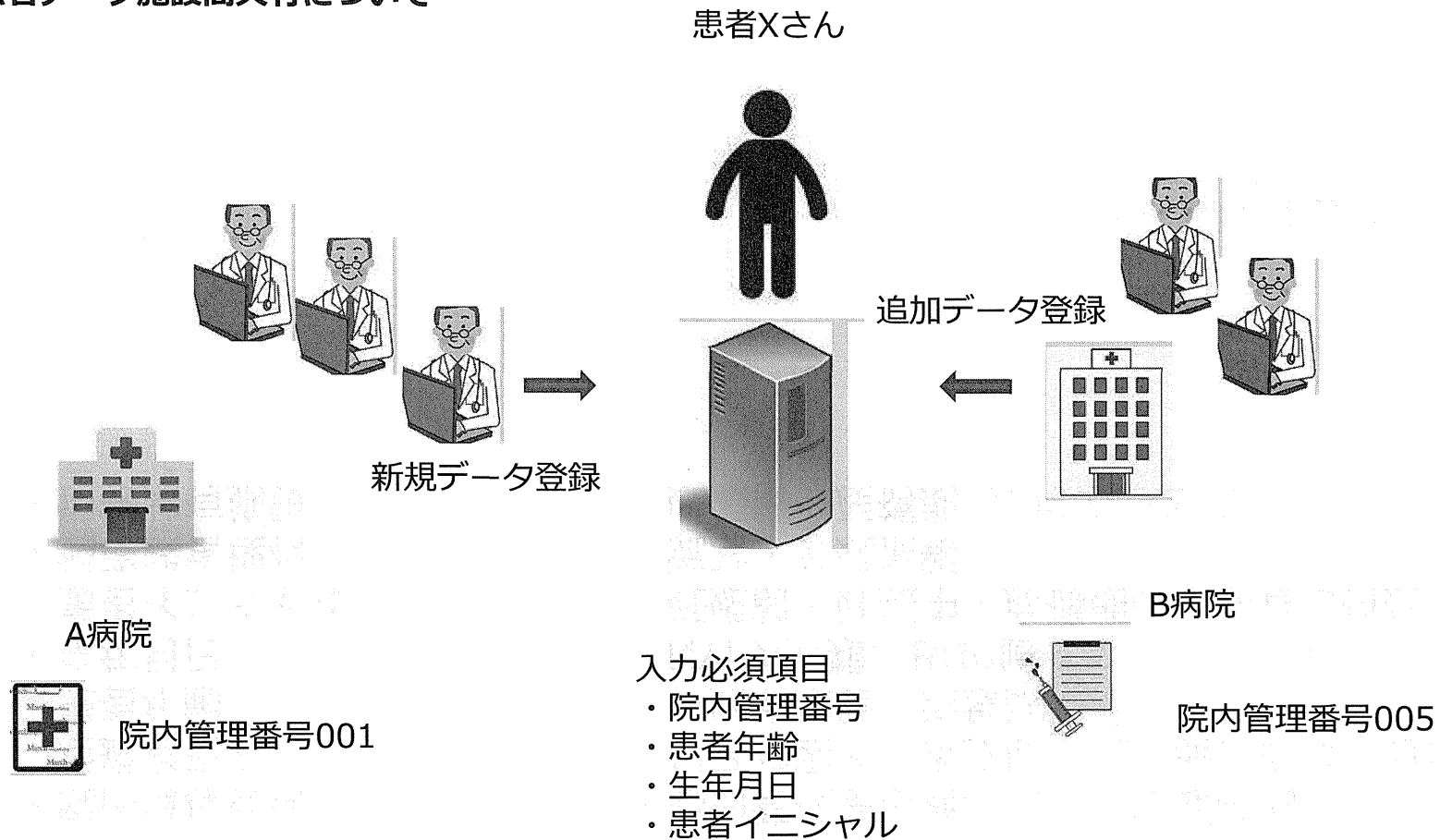
- ・院内管理番号
- ・登録者氏名
- ・患者年齢
- ・生年月日
- ・患者イニシャル
- ・循環器管理科
- ・情報共有施設

【症例情報】

- ・心血管疾患診断名および診断時期
- ・リスク因子、家族歴、既往歴、妊娠・分娩歴、不妊治療歴、治療薬
- ・NYHA分類、BNP値
- ・妊娠前・妊娠中・産褥期の心血管合併症
- ・流産・分娩情報
- ・妊娠前～産褥期1か月の心エコー

※詳細項目別紙参照

◆患者データ施設間共有について



- ・ 院内で検索する場合は院内管理番号、生年月日、患者イニシャルで検索する。
- ・ 施設間情報共有は他施設共有にチェックを入れた患者のみ指定施設と共有する。
- ・ 他施設共有患者の検索は院内管理番号が未登録の場合は生年月日、患者イニシャルで検索する。
- ・ 症例の重複を避けるため、新規患者の登録時、他施設にて施設間共有済として登録済みの患者については、「患者年齢、生年月日、患者イニシャルが一致しています」とアラートが出る。

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
池田智明、杉山隆、前沢忠志	胎児心拍数モニタリング	福井トシ子	新版助産師業務要覧Ⅱ 実践編 第2版	日本看護協会出版会	日本	2014	166-173
金山尚裕	12切迫早産	永井良三 他	産婦人科研修ノート	診断と治療社	東京都	2014	360-362
丹羽公一郎、椎名由美	成人先天性心疾患 心房中隔欠損	門脇孝、小室一成、宮地良樹	診療ガイドラインUP-TO-DATE 2014-2015	メディカルレビュー社	大阪	2014	191-195
椎名由美	成人先天性心疾患の心エコー	吉敷香菜子、椎名由美	成人先天性心疾患の心エコー	ヘクトルコア	日本	2014	
池田智明	厚生労働省科学研究「妊産婦死亡班」の取り組み	関沢昭彦、長谷川潤一	日本の妊産婦を救うために2015	東京医学社	日本	2015	23-27
田中博明、池田智明	成人先天性心疾患の妊娠・出産 妊娠・出産にどうのように対応するか？	赤木禎治、伊藤 浩	成人先天性心疾患パーフェクトガイド	文光堂	日本	2015	218-223
金山尚裕	105. 分娩後危機的出血において羊水塞栓症を疑ったら採血を行い、日本産婦人科医会羊水塞栓症事業に検体を送ることを考慮することを怠るべからず	栗田総 他	周産期医学45増刊号	東京医学社	東京	2015	346-347
金山尚裕	DIC	吉川史隆 他	産科婦人科疾患 最新の治療	南江堂	東京	2015	159-160
山下有加、関沢明彦	産科救急・母体救命	樫山鉄矢、清水敬樹	ER実践ハンドブック	羊土社	東京	2015	343-350
丹羽 公一郎	先天性心疾患	関沢昭彦、長谷川潤一	日本の妊産婦を救うために2015	東京医学社	日本	2015	241-247
Niwa K.	Adults with Congenital Heart Disease	Muenke M, Kruszka PS, Sable CA, Belmont JW	Congenital Heart Disease: Molecular Genetics, Principles of Diagnosis and Treatment	KARGER	アメリカ	2015	70-79

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
村林奈緒、 池田智明	胎児心拍数モニタリング	ペリネイタルケア 産科の臨床検査ダイク ショナリー	429	198-206	2014
村林奈緒、 池田智明	臍帯動脈血ガス	ペリネイタルケア 産科の臨床検査ダイク ショナリー	429	224-226	2014
神元有紀、 池田智明	妊産婦脳卒中の現状と課題	Thrombosis Medicine	4(2)	69-72	2014
村林奈緒、 池田智明	胎児脳モニタリング 胎児心拍数モ ニタリング	周産期医学	44(6)	737-740	2014
田中博明、 池田智明	妊婦と死亡率	調剤と情報9月臨時増 刊号—妊娠と薬物治療 ガイドブック	20(11)	152-154	2014
大谷健太郎、 徳留健、 岸本一郎、 池田智明、 中尾一和、 寒川賢治	授乳期における内因性心臓ナトリウ ム利尿ペプチド系による心保護作用 のメカニズム解析	血管	37(3)	93-97	2014
池田智明	成人先天性心疾患の妊娠分娩管理	進歩する心臓研究	63 (XXXIV No. 1)	11-15	2014
桂木真司、 池田智明	肺高血圧症合併妊娠における母児の 予後	産婦人科の実際	63(12)	2001-2009	2014
田中博明、 池田智明	産科出血における生存例と死亡例の 検討	日本産婦人科・新生児 血液学会誌	24(1)	5027-5028	2014
田中博明、 池田智明	QT延長症候群による妊産婦死亡と妊 娠分娩管理	Fetal & Neonatal Medicine	6(3)	118-121	2014
田中博明、 池田智明	わが国における産科出血による妊産 婦死亡の検討:妊産婦死亡報告事業 2010~2012年	産婦人科の実際	63(12)	2015-2019	2014
田中博明、 神谷千津子、 桂木 真司	循環器系 心筋症(特集 重篤な疾患 を合併する妊産婦の管理)	周産期医学	44(9)	1173-1176	2014
金山尚裕	母体出血対策 出血をきたす疾患— 治療のコツ—子宮型羊水塞栓症	周産期医学	44(5)	621-624	2014
金山尚裕 他	周産期胎盤の診断病理 羊水塞栓症	病理と臨床	32(5)	530-534	2014
金山尚裕	女性のうつ	産科と婦人科	81(9)	1	2014
金山尚裕	産科DIC	成人病と生活習慣病	44(8)	953-957	2014
中村俊介、 有賀徹	多臓器提供の現状における課題	医学のあゆみ	249巻 8号	713-715	2014
有賀 徹	地域包括ケアシステムにおける救急 医の役割	救急医学	38巻 9号	1006-1011	2014

山下智幸	母体胎児救命帝王切開～救命救急センターで実施可能な体制整備～	分娩と麻酔	96	67-75	2014
丹羽公一郎	成人先天性心疾患	Medicina	51	174-177	2014
丹羽公一郎、 椎名由美	成人先天性心疾患の診療体制の構築	循環器内科	75	135-142	2014
丹羽公一郎	成人先天性心疾患の現状と今後の課題	日循看会誌	9	11-13	2014
丹羽公一郎	先天性心疾患の非手術歴（自然歴）1	日小循誌	30	125-134	2014
丹羽公一郎	ACHDの心不全 不整脈、肺高血圧、突然死の実態と治療	医学のあゆみ	249	160-162	2014
丹羽公一郎	先天性心疾患の非手術歴（自然歴）2	日小循誌	30	239-248	2014
丹羽公一郎	成人先天性心疾患	医学のあゆみ	249	416	2014
丹羽公一郎	先天性心臓病成人後のケア	きょうの健康	7	62-65	2014
丹羽公一郎	小児循環器の現状と将来	日児誌	118	1435-1449	2014
丹羽公一郎	成人先天性心疾患の血管障害—aortopsthyを中心に—	進歩する心臓研究	63	16-24	2014
丹羽公一郎	丹羽公一郎。妊娠、経口避妊薬と心筋梗塞	成人病と生活習慣病	44	1352-1357	2014
椎名由美	成人Ebstein奇形における予後予測因子	循環器専門医	22-2	193-199	2014
池田智明	妊産婦死亡事例分析からみた「母体安全への提言2013」	日本産科婦人科学会雑誌ACTA OBST GYNAEC JPN	Vo167. No9	2038-2041	2015
池田智明	人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究	健康教育情報誌 家族と健康	第734号	4-5	2015
池田智明	我が国の妊産婦死亡の現状と対策	静岡県母性衛生学会雑誌	2015. 8	3-7	2015
田中博明、 桂木真司、 池田智明 他.	日本における静脈血栓塞栓症（VTE）関連妊産婦死亡の後方視的検討	日本産婦人科・新生児血液学会誌	25(1)	5079-5080	2015
田中博明、 池田智明	産科出血における生存例と死亡例の検討	日本産婦人科・新生児血液学会誌	24 (2)	31-35	2015
村林奈緒、 池田智明	我が国の基幹的周産期施設における単胎頭位早産の分娩様式:MFICU連絡協議会でのアンケート調査結果	日本周産期・新生児医学学会雑誌	第51巻 第3号	1115-1118	2015
真川祥一、 池田智明	これからの子宮収縮抑制剤の使い方	日本産婦人科医会報	2015. 7	12-13	2015
田中博明、 吉松淳	心疾患合併妊娠(イラストでハイリスク妊娠がわかる本)	ペリネイタルケア	新春増刊	151-154	2015

田中博明、 池田智明	妊産婦救急死亡の現状(特集 妊産婦の救急疾患への対応ー妊産婦死亡を防ぐためにー)	産婦人科の実際	64(2)	133-136	2015
田中博明、 池田智明	弛緩出血(よくわかる検査と診断)	産科と婦人科	82(増刊号)	144-148	2015
田中博明	精神疾患疑い? 「毎回同じ質問をする、質問がやたら多い妊婦」	ペリネイタルケア	34(8)	40-43	2015
田中博明	初期対応から全身管理まで母体急変時対応 羊水塞栓症	ペリネイタルケア	34(10)	58-61	2015
田中博明	羊水塞栓症(胎児・母体・新生児の急変時対応 Q&A99)	ペリネイタルケア	新春増刊	457, 192-201	2015
鳥谷部邦明、 峰松俊夫、 池田智明	サイトメガロウイルス感染症	産科と婦人科増刊号よくわかる検査と診断	82	49-53	2015
村林奈緒、 池田智明	妊婦健診のすべて 胎児機能不全・胎盤機能不全	臨床産婦人科産科2015増刊号	69(4)	260-265	2015
村林奈緒、 池田智明	治療: 投与時の注意点ならびに副作用 出生前ステロイド投与	周産期医学	Vol. 45 No6	840-842	2015
金山尚裕	子宮型羊水塞栓症と凝固線溶・補助系の異常	血液フロンティア	25(10)	71-79	2015
金山尚裕	羊水塞栓症	周産期医学	45(9)	1271-1275	2015
長谷川 潤一	事例からみた妊産婦死亡の原因と予防対策 産科危機的出血症例に対する母体救急連携	日本産科婦人科学会雑誌	67	2045-2051	2015
島田 佳苗、 新垣 達也、 長谷川 潤一、 山下 智幸、 三宅 康史、 松岡 隆、 平 和久、 関沢 明彦	分娩後の意識消失として搬送されてきた出血性ショックの一例	関東連合産科婦人科学会誌	52	187-193	2015
有賀徹	妊婦救急対応の実践と医療システム構築のために】遠隔地における救急医療のあり方	産婦人科の実際	64	1169-1174	2015
有賀徹	2025年に向けて チーム医療における各専門職の役割 チーム医療における各専門職の役割	保健の科学	57(11)	729-733	2015
関沢 明彦、 渡 勇、 長谷川 潤一	妊婦救急対応の実践と医療システム構築のために】学会の取り組み 日本産婦人科医会	産婦人科の実際	64	1176	2015
三宅康史	妊婦救急対応の実践と医療システム構築のために】学会の取り組み 日本臨床救急医学会	産婦人科の実際	64	1177-1178	2015

新垣 達也、 長谷川 潤一、 関沢 明彦、 杉田 典子、 佐々木 佑、 鈴木 翔子、 千葉 海里、 今利 美香、 岡野 美帆、 梶原 美鼓、 蓮沼 有香、 薄井 里美、 針谷 真実子、 平川 真由美、 三浦 まき、 山下 智幸、 三宅康史	【分娩時の出血】出血に関する教育プログラム	助産師	69	18-21	2015
丹羽公一郎	先天性心疾患	日医誌	10	2116-2119	2015
丹羽公一郎	小児心疾患のトランジション	小児内科	47	280-282	2015
丹羽公一郎	循環器疾患の成人期へのトランジション	外来小児科	18 (3)	291-295	2015
丹羽公一郎	成人となった先天性心疾患の診療とその将来	呼吸と循環	64 (1)	5	2015
山下智幸	救急専門医に聞く母体急変時の初期対応	ペリネイタルケア	457	90-103	2016
三浦まき	救急看護認定看護師に聞く母体急変時の初期対応	ペリネイタルケア	457	104-120	2016
Inohara T, Niwa K, Yao A, Inuzuka R, Sakazaki H, Ohuchi H, Inai K	Research Committee of the Japanese Society of Adult Congenital Heart Disease. Survey of the current status and management of Eisenmenger syndrome: A Japanese nationwide survey.	J Cardiol	63	286-290	2014
Murakami T, Tatenos S, Kawasoe Y, Niwa K.	Aortic surgery is one of the risk factors for enhancement of pressure wave reflection in adult patients with congenital heart disease.	Int J Cardiol	175	451-454	2014
Mizuno A, Niwa K.	Residual problems with repaired tetralogy of Fallot.	Circ J	78	1837-1838	2014
Hasegawa J, Sekizawa A, Yoshimatsu J, Murakoshi T, Osato K, Ikeda T, Ishiwata I.	Cases of death due to serious group A streptococcal toxic shock syndrome in pregnant females in Japan.	Arch Gynecol Obstet	291(1)	5-7	2015

Tanaka H, Katsuragi S, Tanaka K, Sawada M, Iwanaga N, Yoshimatsu J, Ikeda T.	Maternal and neonatal outcomes in labor and at delivery when long QT syndrome is present.	J Matern Fetal Neonatal Med.	28	1-3	2015
Sekiguchi A, Ikeda T, Okamura K, Nakai A.	Safety of induced abortions at less than 12 weeks of pregnancy in Japan.	Int J Gynaecol Obstet.	129(1)	54-57	2015
Tanaka H, Katsuragi S, Tanaka K, Miyoshi T, Kamiya C, Iwanaga N, Neki R, Takahashi JC, Ikeda T, Yoshimatsu J.	Vaginal delivery in pregnancy with Moyamoya disease: experience at a single institute.	J Obstet Gynaecol Res.	41(4)	517-522	2015
Todo Y, Tamura N, Itoh H, Ikeda T, Kanayama N.	Therapeutic application of Cl esterase inhibitor concentrate for clinical amniotic fluid embolism: a case report.	Clin Case Rep.	3(7)	673-675	2015
Kamimoto Y, Wada H, Ikejiri M, Nakatani K, Sugiyama T, Osato K, Murabayashi N, Yamada N, Matsumoto T, Ohishi K, Ishikawa H, Tomimoto H, Ito M, Ikeda T.	High frequency of decreased antithrombin level in pregnant women with thrombosis.	Int J Hematol	102(3)	253-258	2015
Hasegawa J, Ikeda T, Sekizawa A, Tanaka H, Nakata M, Murakoshi T, Katsuragi S, Osato K, Ishiwata I, Kinoshita K Japan Association of Obstetricians and Gynecologists.	Maternal Death Due to Stroke Associated With Pregnancy-Induced Hypertension.	Circ J.	79(8)	1835-40	2015
Hasegawa J, Sekizawa A, Ikeda T, Koresawa M, Ishiwata I, Kawabata M, Kinoshita K; Group: Japan Association of Obstetricians and Gynecologists.	The use of balloons for uterine cervical ripening is associated with an increased risk of umbilical cord prolapse: population based questionnaire survey in Japan.	BMC Pregnancy Childbirth 2015	15 : 4	432-4	2015

Tanaka H, Katsuragi S, Osato K, Hasegawa J, Nakata M, Murakoshi T, Yoshimatsu J, Sekizawa A, Kanayama N, Ishiwata I, Ikeda T.	Increase in maternal death-related venous thromboembolism during pregnancy in Japan (2010-2013).	Circ J.	79(6)	1357-62	2015
Hasegawa J, Ikeda T, Sekizawa A, Ishiwata I, Kinoshita K	Obstetric risk factors for umbilical cord prolapse: a nationwide population-based study in Japan.	Arch Gynecol Obstet2015 Dec 29.		1-6	2015
Kanayama N et al	Histological characteristics of the myometrium in the postpartum hemorrhage of unknown etiology: a possible involvement of local immune reactions.	J Reprod Immunol.	110	74-80	2015
Kanayama N et al	Morphologic characteristics of the placental basal plate in in vitro fertilization pregnancies: a possible association with the amount of bleeding in delivery.	Human Pathology.	46(8)	1171-1179	2015
Kanayama N et al	Nutritional conditions in early life and risk of non-communicable diseases (NCDs) from the perspective of preemptive medicine in perinatal care.	Hypertension Research in Pregnancy.	3	1-12	2015
Hasegawa J., Sekizawa A., Ishiwata I., Ikeda T., Kinoshita K.	Uterine rupture after the uterine fundal pressure maneuver.	J Perinat Med	43	785-788	2015
Oba T., Hasegawa J., Arakaki T., Takita H., Nakamura M., Sekizawa A.	Reference values of focused assessment with sonography for obstetrics (FASO) in low-risk population.	J Matern Fetal Neonatal Med	投稿中		
Okada Y., Hasegawa J., Mimura T., Arakaki T., Yoshikawa S., Yamashita Y., Oba T., Nakamura M., Matsuoka R., Sekizawa A.	Uterine rupture at 10 weeks of gestation after laparoscopic myomectomy.	J Med Ultrason	投稿中		

Tauchi M., Hasegawa J., Oba T., Arakaki T., Takita H., Nakamura M., Sekizawa A. A case of uterine rupture diagnosed based on routine focused assessment with sonography for obstetrics.	A case of uterine rupture diagnosed based on routine focused assessment with sonography for obstetrics.	J Med Ultrason	投稿中		
Yamashita Y, Kawashima A, Hasegawa J, et al	Intra-aortic balloon occlusion without fluoroscopy for life-threatening post-partum hemorrhage. Case Reports	Perinatal Medicine	印刷中		2015
Niwa K	Adults with congenital heart disease transition.	Curr Opin Pediatr	27	576-80	2015